



木の国 日本に「木製サッシ・LOW-Eトリプルガラス」。

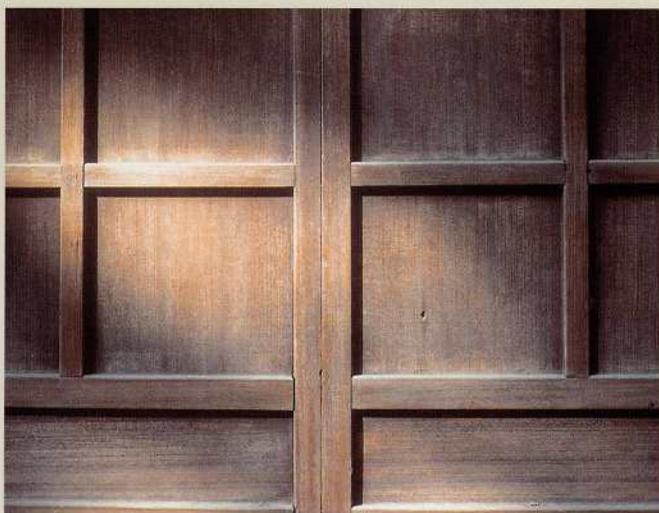


image photo

かつての木造住宅は、簡素な木枠窓や障子、雨戸などですきま風が入り、夏は暑く、冬は寒いのが当たり前でした。四季がはっきりした日本の中では、何かを犠牲にし、少しでも快適さを続ける工夫に終始してきたのです。

しかし、それはもう、昔の話。現代の家は昔のような、すきま風が入ってくる住宅はほとんどなくなりました。家の中で熱が最も逃げやすいウィークポイントは窓などの開口部。ここから家全体の約半分の熱が失われていました。「ユーロコート」は、熱の最大の逃げ場となる窓に、高性能・高機能の木製サッシLow-Eトリプルガラスを採用。1年を通じて室内を快適に保つとともに、冷暖房効率を高めて、大幅な省エネルギーと冷暖房費のコストダウンを実現しています。トリプルガラスの総厚さは36mmあり、3層ガラスの間の内側の層にはアルゴンガスを、外側の層には乾燥空気を封入しています。遮音性にも優れた、高断熱性3層ガラスです。掃除のしやすさや利便性も追求し、1階は外開き窓、2・3階は室内から簡単・安全に両面を拭ける横軸回転窓を採用、ラクラク・快適な掃除を実現しています。



●30° 開いた場合



●90° 開いた場合



●135° 開いた場合



●180° 開いた場合



(エリートフェンスター  
スウェーデン製)



●トリプルガラス (木製断熱サッシ)

- 寒い日を暖かく、暑い日を涼しくするウィンドウ。
- 結露をセーブ、泣かない窓です。
- クーラーとストーブをヒマにします。
- 光は入れても暑さは入れない。
- 外は寒波でも窓辺まで暖かい。



高気密・高断熱のかなめ「断熱アルミ製サッシ・Low-Eペアガラス」。



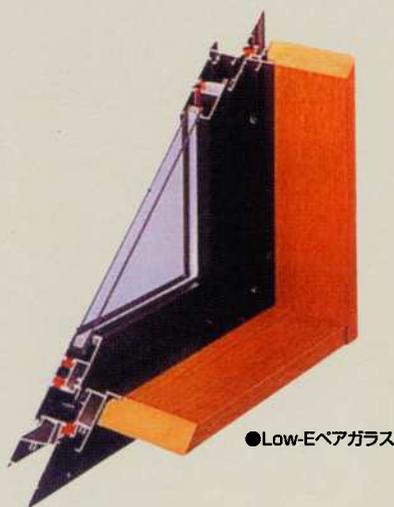
●ユーロコート施工例（平成12年12月撮影）

「高断熱性、耐久性をもつアルミ製サッシ」。

ユーロコートのアルミ製断熱サッシは、アルミと断熱樹脂の複合技術で、今までアルミサッシの短所だった「熱伝導率の高い性質」を克服、アルミの持つ優れた耐久性をそのままに、高い断熱性と防露性を実現しているとともにデザイン性も高く、お洒落な外観を演出します。

エネルギーロスを抑える断熱ペアガラス。

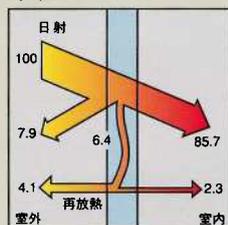
ユーロコートのLow-Eペアガラス（断熱ガラス）には、2枚の板ガラスの間に乾燥空気を封入し、室外側ガラスの内面にLow-Eになる特殊金属をコーティングしています。このコーティング材が夏には太陽の紫外線を82%、日射熱を58%もカットし、大切な家具や内装などの色褪せを防止します。冬には室内の放熱を防ぎ、窓辺まで快適な室内空間を保ちます。



●Low-Eペアガラス

■遮熱の違い

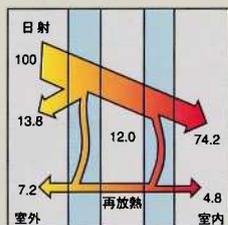
単板ガラス



(ガラス:3ミリ)

除去熱量合計:12%

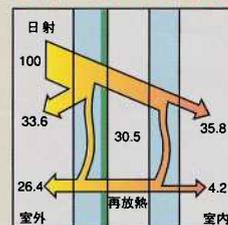
ペアガラス



(ガラス+間隙+ガラス:3ミリ+6ミリ+3ミリ)

除去熱量合計:21%

Low-Eペアガラス



(ガラス+間隙+ガラス:3ミリ+6ミリ+3ミリ)

除去熱量合計:60%

(■は特殊金属コーティング膜)